V-009
椎体浸潤を有する肺癌の術後症例の検討

1. 国立公務員共済組合連合会病院肺病院外科、2. 国立がんセンター中央病院骨幹肺癌科

加藤 雅人、幸福 幸治、良原 充彦、田中 幸生、大谷 和広、大城 真行、一宜宮、中島 充、中馬 広一

【はじめに】椎体に浸潤した肺癌は椎体の骨格にまで浸潤していれば全肺部切除や放射線治療後で生存を見る例は稀である。我々は4症例（T4）に対して放射線治療を行い、うち2症例にT4肺癌の術後症例にについて検討する。【症例と結果】症例1は47歳、男性、右肺癌（T3N1M1）で現在生存している。肺野を全肺切除し放射線を併用したT4肺癌の術後症例にについて検討する。症例2は46歳、男性、右肺癌（T4N1M1）で現在生存している。肺野を全肺切除し放射線を併用したT4肺癌の術後症例にについて検討する。症例3は44歳、男性、右肺癌（T4N1M1）で現在生存している。肺野を全肺切除し放射線を併用したT4肺癌の術後症例にについて検討する。症例4は45歳、男性、右肺癌（T4N1M1）で現在生存している。肺野を全肺切除し放射線を併用したT4肺癌の術後症例にについて検討する。

V-010
前後アプローチによる左肺上葉肺癌の1切除例

1. 佐世保市立総合病院外科

佐野 勝平、南 宽行、原 信信、古川 克郎、及川 将弘、野中 正一、永安 武

【はじめに】前後アプローチによる肺上葉肺癌の1切除例を経験したので報告する。【症例】61歳男性、既往歴、家族歴、搬送機械拡張を伴う非浸潤肺癌を1症例、放射線療法を伴う非浸潤肺癌を2症例、術後化学療法を伴う非浸潤肺癌を1症例と診断した。当院において左肺上葉肺癌1切除例を経験したので報告する。【手術】左肺上葉肺癌1切除例を前後アプローチで行った。